

2026年度

学 生 募 集 要 項

理工学研究科

大学院入試情報サイトに掲載している
『学生募集要項 別冊(研究科共通)』とあわせてご確認ください。

関西大学大学院

目 次

I	出願前の確認	1
II	入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)	2
III	2026 年度入学試験日程および各種手続期間一覧	2～3
IV	募集内容	4
■	博士課程前期課程 募集研究科・専攻および入学定員	4
	一般入学試験(春学期入学)	5～9
	外国人留学生入学試験(春学期入学・秋学期入学)	10～14
	社会人入学試験(春学期入学)	15～17
	特別選抜入学試験(春学期入学)	18～21
	2026 年度 博士課程前期課程 研究領域および担任教員一覧(予定)	22～25
■	博士課程後期課程 募集研究科・専攻および入学定員	26
	一般入学試験(春学期入学)	27～29
	外国人留学生入学試験(春学期入学・秋学期入学)	30～31
	社会人入学試験(春学期入学・秋学期入学)	32～34
	2026 年度 博士課程後期課程 研究領域および担任教員一覧(予定)	35～38
V	出願書類に関する注意事項	39～40

I 出願前の確認

出願資格の確認

(各自が志望する入試種別の出願資格を後掲の「募集内容」で確認)

出願資格「あり」

個別の入学資格審査が
不要な場合

出願資格「あり」

出願手続

- (1) Webエントリー
- (2) 入学検定料納入
- (3) 志願票等提出

出願手續完了

出願資格の再審査について

以下の場合には個別の入学資格の再審査を経ずに出願を認めます。

ただし、同一研究科への申請かつ、申請者の学歴に変更が生じない場合に限りま。

- (1) 個別の入学資格審査の結果、出願資格を一度認められた者が、同一入学年度内の他の日程に出願する場合
- (2) 外国人研究生として個別の入学資格審査を受け、出願資格を認められた在学生在が、引き続き外国人留学生入学試験を出願する場合

- 出願資格の有無について審査の必要がある場合
- 出願資格の有無について判断できない場合

大学院入試グループへ電話連絡・相談

Tel : 06-6368-1407

E-mail : grd-adm@ml.kandai.jp

個別の入学資格審査が
必要な場合

個別の入学資格審査（申請）

〔申請期日〕 郵送の場合は期日までに必着

○春学期入学

8月募集：2025年6月5日(木)

10月募集：2025年6月26日(木)

2月募集：2025年11月20日(木)

○秋学期入学

7月募集：2026年4月16日(木)

8月募集：2026年6月4日(木)

〔申請書類〕

- ・個別の入学資格審査申請書
- ・すべての出願書類（志願票を除く）

※出願書類の内容は志望する入試種別の「2 出願書類」を確認

〔申請先〕 郵送または窓口提出

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35

関西大学 大学院入試グループ

審査結果通知（電話連絡・通知書送付）

〔通知予定日〕

○春学期入学

8月募集：2025年6月25日(水)

10月募集：2025年7月24日(木)

2月募集：2025年12月11日(木)

○秋学期入学

7月募集：2026年5月13日(水)

8月募集 : 2026年6月24日(水)

出願資格「なし」

・申請書類返却

Ⅱ 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

前期課程

理工学研究科では、学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針に基づく教育を受けることのできる者として、様々な入試制度を通じて、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた入学者を広く受け入れます。

- 1 学士課程で修得した理工学の基礎となる学力を基に、専攻した専門分野を中心とする専門的な知識・技能を修得している。
- 2 学士課程における学習を通じて、グローバルな視野に立って自ら考え、周囲の人と円滑なコミュニケーションをとりつつ、「考動力」を発揮して社会に貢献できる。
- 3 特定の学問領域を主体的に学んでいく強い意欲を持っている。

後期課程

理工学研究科では、学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針に基づく教育を受けることのできる者として、様々な入試制度を通じて、次に掲げる知識・技能、資質・能力及び態度を備えた入学者を広く受け入れます。

- 1 学士課程及び博士前期課程で専攻した専門分野を中心とする専門的な知識・技能を修得している。
- 2 学士課程及び博士前期課程における学習を通じて、グローバルな視野に立って自ら考え、周囲の人と円滑なコミュニケーションをとりつつ、「考動力」を発揮して社会に貢献できる。
- 3 特定の学問領域を主体的に学んでいく強い意欲を持っている。

Ⅲ 2026 年度入学試験日程および各種手続期間一覧

出願手続は、Web エントリー、入学検定料の納入、出願書類の提出により完了します。Web エントリーのみでは出願したものとして取り扱いません。出願に際しては本冊子に記載の内容を十分に確認して手続きしてください。

【春学期入学】

日 程	8 月募集	10 月募集		2 月募集	
入学定員	【システム理工学専攻】前期課程：142 名 【環境都市工学専攻】前期課程：86 名 【化学生命工学専攻】前期課程：108 名 【総合理工学専攻】後期課程：47 名				
課 程	前期課程	前期課程	後期課程	前期課程	後期課程
入試種別	■一般入学試験	■外国人留学生入学試験 ■社会人入学試験	■一般入学試験 ■外国人留学生入学試験 ■社会人入学試験	■外国人留学生入学試験 ■社会人入学試験 ■特別選抜入学試験	■一般入学試験 ■外国人留学生入学試験 ■社会人入学試験
Web エントリー期間 入学検定料納入期間 出願書類提出期間	2025 年 6 月 26 日(木)～7 月 10 日(木)	2025 年 8 月 18 日(月)～9 月 1 日(月)		2025 年 12 月 19 日(金) ～2026 年 1 月 9 日(金)	
受験票ダウンロード 開始日	2025 年 8 月 4 日(月)	2025 年 9 月 29 日(月)		2026 年 2 月 16 日(月)	
試験日	2025 年 8 月 23 日(土) (予備日)2025 年 8 月 24 日(日)	2025 年 10 月 5 日(日) (予備日)2025 年 10 月 12 日(日)		2026 年 2 月 21 日(土) (予備日)2026 年 2 月 22 日(日)	
合格者発表日	2025 年 8 月 29 日(金)	2025 年 10 月 10 日(金) (予備日)2025 年 10 月 24 日(金)		2026 年 2 月 27 日(金)	
入学手続Ⅰ-(1)	2025 年 8 月 29 日(金)～9 月 12 日(金)	2025 年 10 月 10 日(金) ～10 月 24 日(金) (予備日)2025 年 10 月 24 日(金) ～11 月 7 日(金)		2026 年 2 月 27 日(金)～3 月 16 日(月)	
入学手続Ⅰ-(2) 入学手続Ⅱ	2026 年 2 月 16 日(月)～3 月 16 日(月)				

※入学学期および入試種別ごとの募集人員は設定していません。

【秋学期入学】

日 程	7 月募集		8 月募集
入学定員	【システム理工学専攻】 【環境都市工学専攻】 【化学生命工学専攻】 【総合理工学専攻】		前期課程：142 名 前期課程： 86 名 前期課程：108 名 後期課程： 47 名
課 程	前期課程	後期課程	後期課程
入試種別	■外国人留学生入学試験	■外国人留学生入学試験	■社会人入学試験
Web エントリー期間 入学検定料納入期間 出願書類提出期間	2026 年 5 月 14 日(木)～5 月 28 日(木)		2026 年 6 月 25 日(木)～7 月 9 日(木)
受験票ダウンロード 開始日	2026 年 6 月 29 日(月)		2026 年 8 月 3 日(月)
試験日	2026 年 7 月 5 日(日) (予備日)2026 年 7 月 19 日(日)		2026 年 8 月 22 日(土) (予備日)2026 年 8 月 23 日(日)
合格者発表日	2026 年 7 月 10 日(金) (予備日)2026 年 7 月 24 日(金)		2026 年 8 月 28 日(金)
入学手続Ⅰ-(1)	2026 年 7 月 10 日(金) ～7 月 24 日(金) (予備日)2026 年 7 月 24 日(金) ～8 月 7 日(金)		2026 年 8 月 28 日(金)～9 月 4 日(金)
入学手続Ⅰ-(2) 入学手続Ⅱ	2026 年 8 月 21 日(金)～9 月 4 日(金)		

※ 1 入学学期および入試種別ごとの募集人員は設定していません。

※ 2 前期課程の秋学期入学（7 月募集）においては、システム理工学専攻数学分野、環境都市工学専攻建築学分野および都市システム工学分野の募集を行いません。

【予備日の設定について】

台風接近による暴風警報発令および交通機関運行停止により試験を延期する場合は、上記のとおり予備日に実施します。その場合は、試験当日 7 時に本大学院入試情報サイトに掲載します。

学内進学試験の学生募集要項は関西大学大学院入試情報サイト (https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/) で別途案内しています。

Ⅳ 募 集 内 容

理工学研究科（博士課程前期課程）

募集研究科・専攻および入学定員

研 究 科	専 攻	入学定員
理工学研究科	シ ス テ ム 理 工 学 専 攻	1 4 2名
	環 境 都 市 工 学 専 攻	8 6名
	化 学 生 命 工 学 専 攻	1 0 8名

注1 入学学期および入試種別ごとの募集人員は設定していません。

注2 博士課程前期課程の秋学期入学（7月募集）においては、システム理工学専攻数学分野、環境都市工学専攻建築学分野および都市システム工学分野の募集を行いません。

M 一般入学試験（春学期入学：8月募集）

1 出願資格

次の(1)～(10)のいずれかの条件を満たす者

（本研究科入学までに、(1)～(8)のいずれかの条件を満たす見込みの者を含む）

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構（旧大学評価・学位授与機構）により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（注1）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（注2）により学士の学位に相当する学位を授与された者（平成28年文部科学省令第19号）
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 大学院に飛び入学した者であって、本大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (10) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、本研究科入学までに22歳に達する者

注1 教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限りします。

注2 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって上記(5)の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含みます。

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(9)または(10)に該当する志願者

なお、個別の入学資格審査に先立ち、志望する研究領域の教員に連絡をする必要があります。

2. 手続方法・申請期日

1 ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

なお、出願資格(9)または(10)による出願は、出願前に個別の入学資格審査として行う学力認定試験に合格した者に限りします。学力認定試験は書類選考および口頭試問を実施します。

（注1）修了した課程が16年未満で学士の学位を有する者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

（注2）外国において、日本の大学卒業に相当する学士の学位を授与された者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

【重要】出願に際しては事前に志望する研究領域の教員に連絡をする必要があります（「大学院 Information（デジタルパンフレット）」または理工学研究科ウェブサイト参照）。その上で、「志望理由書」の所定欄に連絡した日付および教員名を記入してください。（本学システム理工学部、環境都市工学部および化学生命工学部の在学生を除く。）ただし、入学後の指導教員は希望どおりにならないこともあります。

2 出 願 書 類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、39～40 ページの「V 出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いないように提出してください。

また、「出願書類一覧（チェックリスト）」も出願書類と併せて提出すること。

出願書類【書類番号】	備 考
全ての志願者が提出する書類	
志願票（提出用）【①】	Web エントリー完了後に印刷したものを提出してください。
志望理由書【②】	本学所定の用紙 ★本人自筆に限る
出身大学等の成績証明書【③】	成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。 ○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書（原本）を提出してください。 ○出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書（原本）も併せて提出してください。 ○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。 ○在籍期間中にDD（デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー）プログラム等に参加したが、在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。 注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。 注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書（書式自由）を作成し、併せて提出してください。（学校印等は不要）
出身大学等の卒業（見込）証明書【④】	出願書類③に、卒業（見込）であることが記載されている場合は、提出不要です。 卒業（見込）証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。 注 <u>出願資格(2)</u>による志願者は卒業証明書に代えて次の(a)または(b)の書類を、<u>出願資格(6)</u>による志願者は卒業証明書に加えて次の(a)の書類を提出してください。 (a)学位を授与された者 学位授与証明書 (b)学位取得見込みの者はアおよびイ ア 志願者が在籍する短期大学の専攻科または高等専門学校の専攻科の修了見込証明書 イ 志願者が在籍する短期大学または高等専門学校による志願者が学士の学位授与を申請する予定である旨が記載された証明書（申請を受理された者は、大学改革支援・学位授与機構の学位授与申請受理証明書）
在留カードまたはパスポートの写し【⑮】 ★日本国以外の国籍を有する者のみ （特別永住者を除く。）	在留カードの場合は両面をコピーしてください。 パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限、在留資格および最新の在留期間が記載されている部分をコピーしてください。
写真 2 枚	最近 3 カ月以内に撮影されたものを志願票（提出用）と志望理由書にそれぞれ貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。（志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。）

システム理工学専攻 物理・応用物理学分野、機械工学分野、電気電子情報工学分野、
環境都市工学専攻 建築学分野、都市システム工学分野、化学生命工学専攻 生命・生物工学分野の志願者

「TOEIC」または「TOEFL」のスコア証明書【⑭】 ※スコア証明書は、2023 年 4 月 1 日以降に受験し、出願締切日までに発行されたものを有効とします。	●TOEIC 【日本国内受験者】 TOEIC® L&R テスト「デジタル公式認定証」PDF ファイルをダウンロードのうえ A4 用紙に印刷したもの ※40 ページの「TOEIC 『公開テスト スコア確認サービス』手続きの流れ」に従って、TOEIC 申込サイトからスコア提出の手続きを行ってください。 【日本国外受験者】 TOEIC® L&R テスト「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」の原本 (注) TOEIC® L&R テスト (IP) 等の団体特別受験制度のスコア証明書は認めません。 ●TOEFL TOEFL iBT®テスト「Test Taker (Examinee) Score Report」の原本 (注 1) TOEFL ITP®等の団体特別受験制度、TOEFL iBT® Home Edition のスコア証明書は認めません。 (注 2) TOEFL iBT®テストにおける My Best™スコアは選考対象としません。
---	---

3 選 考 方 法

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して可否を判定します。

4 可否判定基準

筆記試験および口頭試問の総合得点の高位順に可否を決定します。

ただし、筆記試験または口頭試問の得点が基準点に抵触する場合は、総合得点に関係なく、不合格となることがあります。

なお、理工学研究科で学ぶために必要不可欠な素養を評価・審査するため、合格者数が入学定員を満たさない場合があります。

5 試 験 時 間

筆 記 試 験		口 頭 試 問
専門科目	外国語 (英語)	筆記試験終了後
10:00～12:00 (120 分)	13:30～15:00 (90 分)	

注 口頭試問の開始時刻および試験場等の詳細は、試験当日に指示します。

6 専攻・分野別試験科目および配点

専攻	分 野	試験科目		配点
システム理工学専攻	数学分野	専門科目	【必須】 微積分、線形代数 【2題選択】 集合と位相、解析、微分方程式、群・環	250 点
		外国語	英 語	100 点
		口頭試問		100 点
	物理・応用物理学分野	専門科目	【必須】 力学、電磁気学、数学（微積分、線形代数）各 1 問 【選択】 量子力学、波動、物性物理、流体力学の中から 1 問選択 ※ 選択科目については、出願時に受験科目を申請すること	250 点
		外国語	筆記試験を行いません。 出願書類として提出された TOEIC または TOEFL のスコアを換算します。	100 点
		口頭試問		100 点
	機械工学分野	専門科目	下記の 5 科目の問 1 すべてと、問 2 から 2 問を選択して解答する。 応用数学、熱力学、流体力学、材料力学、機械力学	250 点
		外国語	筆記試験を行いません。 出願書類として提出された TOEIC または TOEFL のスコアを換算します。	100 点
		口頭試問		100 点
	電気電子情報工学分野	専門科目	【電気回路、電磁気学、データ構造とアルゴリズムの 3 科目から 2 科目選択】 電気回路 2 問出題 問 1 直流回路（キルヒホッフの法則、直・並列回路、双対性、電力と整合） 問 2 交流回路（正弦波定常回路、回路の複素数表示、ベクトル図、共振回路、回路の諸定理、過渡現象の基礎） 電磁気学 次の範囲から 2 問出題 電荷、電場、電気容量、磁場、誘導とインダクタンス、電磁力 データ構造とアルゴリズム 次の範囲から 2 問出題 計算量、データ構造（木構造、グラフ構造を含む）、探索アルゴリズム（データ探索、文字列探索、グラフ探索を含む）、ソートアルゴリズム、C 言語によるプログラム記述	300 点
		外国語	筆記試験を行いません。	—
		口頭試問		150 点

環境都市工学専攻	建築学分野	専門科目	建築学全般にわたる 8～10 問の設問から 5 問を選択	300 点
		外国語	筆記試験を行いません。	—
		口頭試問		150 点
	都市システム工学分野	専門科目	【必須科目】 基礎数学 (「微分積分ⅠおよびⅡ」、「線形代数ⅠおよびⅡ」の範囲) 【選択科目】 下記科目から 2 科目を選択 環境工学 (「環境工学」、「環境計画学」の範囲) 水理学 (「水理学」、「応用水理学」の範囲) 地盤力学 (「地盤力学」、「応用地盤力学」の範囲) 構造力学 (「静定構造力学」、「不静定構造力学」の範囲) コンクリート工学 (「建設材料学」、「RC 構造学」の範囲) 土木計画学 (「社会計画」、「応用社会計画」、「都市地域計画」の範囲) データ工学 (「確率モデル分析」、「統計モデル分析」、「データマイニング」の範囲) ネットワーク工学 (「情報ネットワーク論 1」、「情報ネットワーク論 2」の範囲) 土木情報学 (「情報システム学」、「応用測量学」、「都市情報システム」、「情報メディアシステム」の範囲)	250 点
		外国語	筆記試験を行いません。 出願書類として提出された TOEIC または TOEFL のスコアを換算します。	100 点
		口頭試問		100 点
	エネルギー環境・化学工学分野	専門科目	【必須】 物理化学 [反応速度論、熱力学 (化学平衡、相平衡を含む)、電気化学、溶液論、化学量論] 【選択科目】 反応工学、プロセスシステム工学、触媒工学、流動伝熱、拡散分離の 5 科目から 2 科目選択 注 本学から関数電卓・定規を貸与します	250 点
		外国語	英 語	100 点
		口頭試問		100 点
化学生命工学専攻	化学・物質工学分野	専門科目	【(1)～(8)の 8 科目から 2 科目選択】 ただし(1)と(6)は同時に選択できない。 (1) 材料の熱力学と速度論 (材料熱力学、速度論、物質移動) (2) 材料の構造と相平衡 (結晶構造、X 解回折、材料組織、状態図) (3) 材料の力学と物性 (材料力学、材料の機械的・熱的・電氣的・光学的性質) (4) 有機化学 (5) 高分子化学 (6) 物理化学 (7) 無機化学 (8) 生体分子化学 (生体分子の構造と機能) 注 本学から関数電卓を貸与します	250 点
		外国語	英 語	100 点
		口頭試問		100 点
	生命・生物工学分野	専門科目	【次から 2 科目選択】 生化学、微生物学、有機化学	250 点
		外国語	筆記試験を行いません。 出願書類として提出された TOEIC または TOEFL のスコアを換算します。	100 点
		口頭試問		100 点

M 外国人留学生入学試験（春学期入学：10月募集・2月募集/秋学期入学：7月募集）

1 出願資格

次の(1)～(5)のいずれかの条件を満たす者

（本研究科入学までに、(1)～(4)のいずれかの条件を満たす見込みの者を含む）

- (1) 外国において通常の課程による16年の学校教育を修了した者（注1）
- (2) 日本において外国人留学生として大学を卒業した者
- (3) 外国の大学その他の外国の学校（注2）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより学士の学位に相当する学位を授与された者（平成28年文部科学省令第19号）
- (4) 日本において外国人留学生として専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (5) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認められた者。ただし、日本において通常の課程による学校教育を受けたと認定した外国人を除く。

注1 以下の学校に在籍した者は、その期間が通算4年以内である場合に限り、出願資格(1)と同様とみなす。

- ・日本の学校教育法に基づく小学校・中学校・高等学校等
- ・日本にある外国人学校
- ・文部科学大臣が認定又は指定した在外教育施設

注2 教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限ります。

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(5)に該当する志願者

なお、個別の入学資格審査に先立ち、志望する研究領域の教員に連絡をする必要があります。

2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

なお、出願資格(5)による出願は、出願前に個別の入学資格審査として行う学力認定試験に合格した者に限ります。学力認定試験は書類選考および口頭試問を実施します。

（注1）修了した課程が16年未満で学士の学位を有する者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

（注2）外国において、日本の大学卒業に相当する学士の学位を授与された者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

【重要】出願に際しては事前に志望する研究領域の教員に連絡をする必要があります（「大学院 Information（デジタルパンフレット）」または理工学研究科ウェブサイト参照）。その上で、「志望理由書」の所定欄に連絡した日付および教員名を記入してください。（本学システム理工学部、環境都市工学部および化学生命工学部の在学学生を除く。）ただし、入学後の指導教員は希望どおりにならないこともあります。

2 出 願 書 類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、39～40 ページの「V 出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「出願書類一覧（チェックリスト）」も出願書類と併せて提出すること。

出願書類【書類番号】	備 考
全ての志願者が提出する書類	
志願票（提出用）【①】	Web エントリー完了後に印刷したものを提出してください。
日本語または英語による志望理由書【②】	本学所定の用紙 ★本人自筆に限る
出身大学の成績証明書【③】	成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。 ○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書（原本）を提出してください。 ○出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書（原本）も併せて提出してください。 ○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。 ○在籍期間中にDD（デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー）プログラム等に参加したが、在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。 注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。 注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書（書式自由）を作成し、併せて提出してください。（学校印等は不要）
出身大学の卒業（見込）証明書【④】	卒業（見込）であること、入学年月および卒業（見込）年月が記載されていること。 ただし、出願書類③に上記内容が記載されている場合は、提出不要です。 卒業（見込）証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。 注 出願資格(3)による志願者は、卒業証明書に加えて学位授与証明書を提出してください。
日本語または英語による研究計画書【⑤】	概要 1,000 字程度 原本 1 部とその写し 3 部 パソコン等で A4 用紙（横書き 40 字×40 行）を使用して作成してください。
在留カードまたはパスポートの写し【⑬】	在留カードの場合は両面をコピーしてください。 パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限、在留資格および最新の在留期間が記載されている部分をコピーしてください。
写真 2 枚	最近 3 カ月以内に撮影されたものを志願票（提出用）と志望理由書にそれぞれ貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。（志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。）

**システム理工学専攻 物理・応用物理学分野、機械工学分野、
電気電子情報工学分野、環境都市工学専攻 建築学分野、都市システム工学分野の志願者**

「TOEIC」または「TOEFL」のスコア証明書【⑭】 ※スコア証明書は、2023 年 4 月 1 日以降に受験し、出願締切日までに発行されたものを有効とします。	●TOEIC 【日本国内受験者】 TOEIC® L&R テスト「デジタル公式認定証」PDF ファイルをダウンロードのうえ A4 用紙に印刷したもの ※40 ページの「TOEIC 『公開テスト スコア確認サービス』手続きの流れ」に従って、TOEIC 申込サイトからスコア提出の手続きを行ってください。 【日本国外受験者】 TOEIC® L&R テスト「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」の<u>原本</u> (注) TOEIC® L&R テスト (IP) 等の団体特別受験制度のスコア証明書は認めません。 ●TOEFL TOEFL iBT®テスト「Test Taker (Examinee) Score Report」の<u>原本</u> (注 1) TOEFL ITP®等の団体特別受験制度、TOEFL iBT® Home Edition のスコア証明書は認めません。 (注 2) TOEFL iBT®テストにおける My Best™スコアは選考対象としません。
---	--

3 選 考 方 法

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して可否を判定します。

4 可否判定基準

【システム理工学専攻 電気電子情報工学分野以外】

筆記試験および口頭試問の総合得点の高位順に可否を決定します。

ただし、筆記試験または口頭試問の得点が基準点に抵触する場合は、総合得点に関係なく、不合格となることがあります。

【システム理工学専攻 電気電子情報工学分野のみ】

口頭試問の得点の高位順に可否を決定します。

なお、理工学研究科で学ぶために必要不可欠な素養を評価・審査するため、合格者数が入学定員を満たさない場合があります。

5 試 験 時 間

筆 記 試 験		口 頭 試 問
専門科目	外国語（英語）	筆記試験終了後
10:00～12:00（120 分）	13:30～15:00（90 分）	

注 口頭試問の開始時刻および試験場等の詳細は、試験当日に指示します。

6 専攻・分野別試験科目および配点

秋学期入学（7月募集）においては、システム理工学専攻数学分野、環境都市工学専攻建築学分野および都市システム工学分野の募集を行いません。

専攻	分 野	試験科目		配点
システム理工学専攻	数学分野	専門科目	【必須】 微積分、線形代数 【2題選択】 集合と位相、解析、微分方程式、群・環	200 点
		外国語	英 語	100 点
		口頭試問		100 点
	物理・応用物理学分野	専門科目	【必須】 力学、電磁気学、数学（微積分、線形代数）各 1 問 【選択】 量子力学、波動、物性物理、流体力学の中から 1 問選択 ※ 選択科目については、出願時に受験科目を申請すること	200 点
		外国語	筆記試験を行いません。 出願書類として提出された TOEIC または TOEFL のスコアを換算します。	100 点
		口頭試問		100 点
	機械工学分野	専門科目	筆記試験を行いません。	—
		外国語	筆記試験を行いません。 出願書類として提出された TOEIC または TOEFL のスコアを換算します。	100 点
		口頭試問	次のような点について試問を行います。 ①出願時に選択する口頭試問科目を中心とした機械工学の基本的な理解に関する試問 ※口頭試問科目：出願時に応用数学、熱力学、流体力学、材料力学、機械力学の 5 科目から 2 科目を選択してください。 ②これまでの研究内容 ③入学後の研究テーマと研究方法 等	300 点
	電気電子情報工学分野	専門科目	筆記試験を行いません。	—
		外国語	筆記試験を行いません。	—
		口頭試問	次のような点について試問を行います。 ①出願時に選択する口頭試問科目を中心とした電気電子情報工学に関する試問 ※口頭試問科目：出願時に電気回路、電磁気、情報基礎の 3 科目から 2 科目を選択してください。 ※口頭試問科目の出題範囲 電気回路…直・並列回路、双対性、正弦波定常回路など 電 磁 気…電荷、電場、電気容量、磁場など 情報基礎…データ構造とアルゴリズム、プログラミング(C言語)など ②志望研究領域に関する試問 等	400 点

環境都市工学専攻	建築学分野	専門科目	専門に関する小論文（日本語で解答）	250 点
		外国語	筆記試験を行いません。	—
		口頭試問		150 点
	都市システム工学分野	専門科目	【必須科目】 基礎数学 （「微分積分ⅠおよびⅡ」、「線形代数ⅠおよびⅡ」の範囲） 【選択科目】 下記科目から2科目を選択 環境工学 （「環境工学」、「環境計画学」の範囲） 水理学 （「水理学」、「応用水理学」の範囲） 地盤力学 （「地盤力学」、「応用地盤力学」の範囲） 構造力学 （「静定構造力学」、「不静定構造力学」の範囲） コンクリート工学 （「建設材料学」、「RC構造学」の範囲） 土木計画学 （「社会計画」、「応用社会計画」、「都市地域計画」の範囲） データ工学 （「確率モデル分析」、「統計モデル分析」、「データマイニング」の範囲） ネットワーク工学 （「情報ネットワーク論1」、「情報ネットワーク論2」の範囲） 土木情報学 （「情報システム学」、「応用測量学」、「都市情報システム」、「情報メディアシステム」の範囲） ※ 選択科目については、出願時に受験科目を申請すること	200 点
		外国語	筆記試験を行いません。 出願書類として提出された TOEIC または TOEFL のスコアを換算します。	100 点
		口頭試問		100 点
	エネルギー環境・化学工学分野	専門科目	物理化学、化学工学に関する総合問題（日本語もしくは英語で解答） 注 本学から関数電卓・定規を貸与します	200 点
		外国語	英 語	100 点
		口頭試問		100 点
化学生命工学専攻	化学・物質工学分野	専門科目	志望研究領域に関する化学・物質工学 注 本学から関数電卓を貸与します	200 点
		外国語	英 語	100 点
		口頭試問		100 点
	生命・生物工学分野	専門科目	【次から1科目選択】 生化学、分子生物学、微生物学、有機化学、食品栄養化学 ただし、出願時に受験科目を申請すること	200 点
		外国語	英 語	100 点
		口頭試問		100 点

M 社会人入学試験（春学期入学：10月募集・2月募集）

1 出願資格

次の(1)および(2)の条件を満たす者

(1) 次のア～コのいずれかに該当する者

- ア 大学を卒業した者
- イ 大学改革支援・学位授与機構（旧大学評価・学位授与機構）により学士の学位を授与された者
- ウ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- エ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- オ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- カ 外国の大学その他の外国の学校（注1）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（注2）により学士の学位に相当する学位を授与された者（平成28年文部科学省令第19号）
- キ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ク 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- ケ 大学院に飛び入学した者であって、本大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- コ 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、本研究科入学までに22歳に達する者

注1 教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限ります。

注2 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって上記オの指定を受けたものにおいて課程を修了することを含みます。

(2) 次のアまたはイのいずれかに該当する者

- ア 入学時において、同一の企業、官公庁、教育・研究機関等において引き続き2年以上勤務する見込みの者または2年以上勤務経験を有する者で、本研究科入学までに25歳に達する者。ただし、現職教員または経験者は本研究科入学までに22歳に達する者
- イ 本大学院において、個別の入学資格審査により、アに準ずる職歴を有すると認めた者

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(1)-ケ、(1)-コまたは(2)-イに該当する志願者

なお、個別の入学資格審査に先立ち、志望する研究領域の教員に連絡をする必要があります。

2. 手続方法・申請期日

1 ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

なお、出願資格(1)-ケ、(1)-コによる出願は、出願前に個別の入学資格審査として行う学力認定試験に合格した者に限ります。学力認定試験は書類選考および口頭試問を実施します。

(注1) 修了した課程が16年未満で学士の学位を有する者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

(注2) 外国において、日本の大学卒業に相当する学士の学位を授与された者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

【重要】出願に際しては事前に志望する研究領域の教員に連絡をする必要があります（「大学院 Information（デジタルパンフレット）」または理工学研究科ウェブサイト参照）。その上で、「志望理由書」の所定欄に連絡した日付および教員名を記入してください。ただし、入学後の指導教員は希望どおりにならないこともあります。

2 出 願 書 類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、39～40 ページの「V 出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「出願書類一覧（チェックリスト）」も出願書類と併せて提出すること。

出願書類【書類番号】	備 考
志願票（提出用）【①】	Web エントリー完了後に印刷したものを提出してください。
志望理由書【②】	本学所定の用紙 ★本人自筆に限る
出身大学等の成績証明書【③】	成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。 ○出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書（原本）も併せて提出してください。 ○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学の成績証明書に記載がない場合は、留学先の大学等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。 ○在籍期間中にDD（デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー）プログラム等に参加したが、在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。 注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。 注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書（書式自由）を作成し、併せて提出してください。（学校印等は不要）
出身大学等の卒業（見込）証明書【④】	出願書類③に、卒業（見込）であることが記載されている場合は、提出不要です。 卒業（見込）証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。 注 出願資格(1)-イによる志願者は卒業証明書に代えて学位授与証明書を提出してください。 また、出願資格(1)-カによる志願者は卒業証明書に加えて学位授与証明書を提出してください。
研究計画書【⑤】	概要 1,000 字程度 原本 1 部とその写し 3 部 パソコン等で、A4 用紙（横書 40 字×40 行）を使用して作成してください。
業績報告書【⑧】	在職中の研究業績内容または業務内容の概要 1,000 字程度 原本 1 部とその写し 3 部 パソコン等で、A4 用紙（横書 40 字×40 行）を使用して作成してください。
研究業績がある場合には、抜刷またはその写し【⑨】 ★該当者のみ	学術論文、学会発表、研究報告書等の抜刷またはその写し 各 4 部 印刷出力が難しい場合は、電子媒体そのものでも可
在留カードまたはパスポートの写し【⑩】 ★日本国以外の国籍を有する者のみ（特別永住者を除く。）	在留カードの場合は両面をコピーしてください。 パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限、在留資格および最新の在留期間が記載されている部分をコピーしてください。
写真 2 枚	最近 3 カ月以内に撮影されたものを志願票（提出用）と志望理由書にそれぞれ貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。 （志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。）

3 選 考 方 法

書類選考および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

4 合否判定基準

口頭試問の得点の高位順に合否を決定します。

なお、理工学研究科で学ぶために必要不可欠な素養を評価・審査するため、合格者数が入学定員を満たさない場合があります。

5 試 験 科 目

筆 記 試 験	口 頭 試 問
行いません	口頭試問の開始時刻は受験票にて通知します。

M 特別選抜入学試験（春学期入学：2月募集）

1 特別選抜入学試験の趣旨

21 世紀における人類社会のさらなる発展を期すために、科学創造立国を唱える我が国では、新技術の開発に貢献できる高度の研究開発能力と広い視野を持つ技術者の育成が急務となっている。本研究科はこのような社会の要請にこたえるため、特別選抜入学試験制度を実施し、独創性豊かな人材を広く学内外に求めようとするものである。そのため、特別選抜入学試験では、筆記試験中心の通常の入学試験とは異なり、志願者の基礎学力はもとより、本研究科での勉学・研究意欲、知的好奇心並びに科学技術への関心の度合いなどを書類審査と口頭試問により評価し、選抜を行う。

2 専攻・分野および募集人員

募集の有無について 【○：募集有り（若干名） ×：募集無し】

専攻	分野	他大学		本学システム理工学部、 環境都市工学部、 化学生命工学部および工学部		本学の左記以外の学部	
		既卒者	卒業 見込者	既卒者 ただし、社会人入 学試験の出願資格 を満たさない者	卒業 見込者	既卒者	卒業 見込者
システム理工学専攻	数学分野※1	○	○	○	×	○	○
	物理・応用物理学分野	○	○	○	×	○	○
	機械工学分野※2	○	○	○	×	○	○
	電気電子情報工学分野	×	×	×	×	×	×
環境都市工学専攻	建築学分野	○	○	○	×	○	○
	都市システム工学分野	×	×	×	×	×	×
	エネルギー環境・化学工学分野	○	○	○	×	○	○
化学生命工学専攻	化学・物質工学分野	○	○	○	×	○	○
	生命・生物工学分野	○	○	○	×	○	○

※1 システム理工学専攻数学分野においては、同一年度の一般入学試験（8月募集）受験者は受験できないこと。

※2 システム理工学専攻機械工学分野においては、事前に各研究領域の研究指導教員に意志を連絡しておくこと。

3 出 願 資 格

次の(1)～(10)のいずれかの条件を満たす者

(本研究科入学までに、(1)～(8)のいずれかの条件を満たす見込みの者を含む)

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構（旧大学評価・学位授与機構）により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（注1）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（注2）により学士の学位に相当する学位を授与された者（平成28年文部科学省令第19号）
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 大学院に飛び入学した者であって、本大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (10) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、本研究科入学までに22歳に達する者

注1 教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限り、ます。

注2 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって上記オの指定を受けたものにおいて課程を修了することを含みます。

外国人留学生については、同一日に実施する「外国人留学生入学試験」に出願してください。

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(9)または(10)に該当する志願者

なお、個別の入学資格審査に先立ち、志望する研究領域の教員に連絡をする必要があります。

2. 手続方法・申請期日

1 ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

なお、出願資格(9)または(10)による出願は、出願前に個別の入学資格審査として行う学力認定試験に合格した者に限ります。学力認定試験は書類選考および口頭試問を実施します。

(注1) 修了した課程が16年未満で学士の学位を有する者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

(注2) 外国において、日本の大学卒業に相当する学士の学位を授与された者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

【重要】出願に際しては事前に志望する研究領域の教員に連絡をし、出願資格および試験日当日の口頭試問における準備資料について確認をする必要があります（「大学院 Information（デジタルパンフレット）」または理工学研究科ウェブサイトを参照）。その上で、「志望理由書」の所定欄に連絡した日付および教員名を記入してください。ただし、入学後の指導教員は希望どおりにならないこともあります。

4 出 願 書 類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、39～40 ページの「V 出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「出願書類一覧（チェックリスト）」も出願書類と併せて提出すること。

出願書類【書類番号】	備 考
志願票（提出用）【①】	Web エントリー完了後に印刷したものを提出してください。
志望理由書【②】	本学所定の用紙 ★本人自筆に限る
出身大学等の成績証明書【③】	成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。 ○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書（原本）を提出してください。 ○出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書（原本）も併せて提出してください。 ○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。 ○在籍期間中にDD（デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー）プログラム等に参加したが、在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。 注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。 注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書（書式自由）を作成し、併せて提出してください。（学校印等は不要）
出身大学等の卒業（見込）証明書【④】	出願書類③に、卒業（見込）であることが記載されている場合は、提出不要です。 卒業（見込）証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。 注 出願資格(2)による志願者は卒業証明書に代えて次の(a)または(b)の書類を、出願資格(6)による志願者は卒業証明書に加えて次の(a)の書類を提出してください。 (a)学位を授与された者 学位授与証明書 (b)学位取得見込みの者はアおよびイ ア 志願者が在籍する短期大学の専攻科または高等専門学校の専攻科の修了見込証明書 イ 志願者が在籍する短期大学または高等専門学校による志願者が学士の学位授与を申請する予定である旨が記載された証明書（申請を受理された者は、大学改革支援・学位授与機構の学位授与申請受理証明書）
推薦書【⑩】	本学所定の用紙 厳封したもので、原則として第三者により作成されたものを提出してください。厳封した封筒等に書類番号を明記してください。
在留カードまたはパスポートの写し【⑮】 ★日本国以外の国籍を有する者のみ （特別永住者を除く。）	在留カードの場合は両面をコピーしてください。 パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限、在留資格および最新の在留期間が記載されている部分をコピーしてください。
写真 2 枚	最近 3 カ月以内に撮影されたものを志願票（提出用）と志望理由書にそれぞれ貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。（志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。）
社会人経験(注)を持つ志願者のみ次の①および②も併せて提出してください。	
① 企業・研究・教育機関等での主要な業務・研究経歴とその内容および入学後の研究計画【⑪】	各 4 部 パソコン等で A4 用紙（横書 40 字×40 行）を使用して作成してください。
② 学術講演会等での発表、書籍・学術雑誌等に掲載または掲載決定している論文等【⑫】	各 4 部 ある場合のみ提出してください。

注 社会人経験とは、入学時に企業・教育・研究機関等で継続して2年間以上の実務経験があることを指します。

5 選考方法

書類選考および口頭試問の結果を総合して可否を判定します。

6 可否判定基準

口頭試問の得点の高位順に可否を決定します。

なお、理工学研究科で学ぶために必要不可欠な素養を評価・審査するため、合格者数が入学定員を満たさない場合があります。

7 試験内容

試験科目	(1) 書類選考および口頭試問（口答・筆答を含む） (2) 社会人経験を持つ者（現職教員を含む）については、所属機関での主要な業務内容と入学後の研究計画についてのプレゼンテーション (3) (2)以外の者については、大学院での学修・研究に係る事項についての自己アピールあるいは知的好奇心が高い特定の課題に対するプレゼンテーション 注1 筆記試験は実施しません。 注2 (2)および(3)については、志願者は事前に説明資料・作品等を準備し、5～10分程度で行うこと。 なお、準備資料については、志望する研究領域の教員に確認すること。
口頭試問の内容	(1) 出願書類に関する事項 (2) 志望分野・研究領域に関する基礎的科目に関する事項 (3) 自己アピール・プレゼンテーションに関する事項

注 口頭試問の開始時刻は受験票にて通知します。

注 研究指導教員については変更することがあります。
 変更が生じた場合は、本大学院入試情報サイトでお知らせしますので、出願前にご確認ください。
 (https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/) (2025年4月現在)

2026年度 博士課程前期課程 研究領域および担任教員一覧（予定）

専攻	分野	研究領域	教員氏名（○は研究指導教員を表す）		
システム理工学専攻	数学分野	コホモロジー的数理	教授	博(理)東工大	○ 庄 田 敏 宏
			教授	博(数理学)東大	○ 藤 岡 敦
			教授	博(理)早大	○ 村 林 直 樹
			教授	博(理)名大	○ 柳 川 浩 二
			教授	博(理)阪大	○ 和久井 道 久
			准教授	博(数理学)東大	○ 神 吉 雅 崇
		確率・統計	教授	博(理)阪大	○ 上 村 稔 大
			教授	理博(阪大)	○ 竹 田 雅 好
			教授	博(学術)東大	○ 寺 本 央
			准教授	博(数理)九大	○ 上 原 悠 慎
			准教授	博(理)立命館大	○ 田 口 大
	物理・応用物理学分野	基礎・計算物理	教授	博(理)京大	○ 板 野 智 昭
			教授	博(工)名大	○ 伊 藤 博 介
			教授	博(理)大市大	○ 伊 藤 誠
			教授	理博(京大)	○ 関 眞佐子
			教授	博(工)名大	○ 本 多 周 太
			教授	理博(京大)	○ 和 田 隆 宏
			准教授	博(理)信州大	○ 阿 部 裕 悟
		光学・応用物理	教授	博(工)阪大	○ 浅 川 誠
			教授	博(材)北陸先端大	○ 稲 田 貢
			教授	博(理)京大	○ 山 口 聡一朗
			教授	博(工)東大	○ 山 本 健
			准教授	Ph. D. (メリーランド大)	○ 山 本 真 人
		機械工学分野	教授	博(工)慶應大	○ 伊 藤 健
			教授	博(工)広大	○ 清 水 智 弘
		流体工学・バイオメカニクス	教授	博(工)関大	○ 田地川 勉
			教授	博(工)阪大	○ 山 本 恭 史
			准教授	博(工)北大	○ 大 友 涼 子
		材料工学	教授	博(工)阪大	○ 齋 藤 賢 一
			教授	博(工)関大	○ 佐 藤 知 広
			教授	博(工)京大	○ 高 橋 可 昌
			教授	工博(関大)	○ 宅 間 正 則
		トライボロジー・情報マイクロメカトロニクス	教授	博(工)東工大	○ 小金沢 新 治
			教授	博(工)東大	○ 谷 弘 詞
			教授	博(工)岩大	○ 呂 仁 国
		熱工学	教授	博(工)関大	○ 梅 川 尚 嗣
			教授	博(工)同大	○ 松 本 亮 介
			准教授	博(工)関大	○ 網 健 行
			准教授	博(工)京大	○ 小 田 豊
		生産加工システム	教授	博(工)東大	○ 古 城 直 道
			教授	工博(東大)	○ 山 口 智 実
			准教授	博(工)岡山大	○ 廣 岡 大 祐
		機械力学・制御工学	教授	博(工)東大	○ 宇津野 秀 夫
			教授	博(工)京大	○ 山 田 啓 介
			准教授	博(情報科学)阪大	○ 白 藤 翔 平
		計測・知能システム	教授	博(理)広大	○ 高 田 啓 二
			教授	博(工)阪大	○ 前 泰 志
			准教授	博(工)阪大	○ ラサミー ポチャラ
		ロボット・マイクロシステム	教授	博(工)東大	○ 青 柳 誠 司
			教授	博(工)広大	○ 鈴 木 昌 人
			准教授	博(工)東北大	○ 高 橋 智 一
		人間・生体情報工学	教授	Ph. D. (ペンシルバニア州立大)	○ 小 谷 賢太郎
			准教授	博(工)青学大	○ 鈴 木 哲

注 研究指導教員については変更することがあります。
 変更が生じた場合は、本大学院入試情報サイトでお知らせしますので、出願前にご確認ください。
 (https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/) (2025年4月現在)

2026年度 博士課程前期課程 研究領域および担任教員一覧（予定）

専攻	分野	研究領域	教員氏名（○は研究指導教員を表す）		
システム理工学専攻	電気電子情報工学分野	電気工学	教授	博(工)東大	○ 大 橋 俊 介
			教授	博(工)東大	○ 濱 田 昌 司
			准教授	博(工)関大	○ 米 津 大 吾
		機能性材料・デバイス	教授	博(工)阪大	○ 北 村 敏 明
			教授	博(工)阪大	○ 佐 伯 拓
			准教授	博(工)関大	○ 佐 藤 伸 吾
			准教授	博(工)筑波大	○ 宝 田 隼
		情報通信工学	教授	博(工)阪大	○ 平 田 孝 志
			教授	工博(阪大)	○ 山 本 幹
			教授	博(工)阪大	○ 四 方 博 之
			教授	博(工)阪大	○ 和 田 友 孝
		システム情報学	教授	博(工)京大	○ 伊 藤 秀 隆
			教授	博(工)慶大	○ 肥 川 宏 臣
			教授	博(工)金沢大	○ 三 好 誠 司
			准教授	博(工)岡山大	○ 本 仲 君 子
		メディア処理工学	教授	博(工)阪大	○ 梶 川 嘉 延
			教授	博(工)大市大	○ 松 島 恭 治
			准教授	博(情報科学)北大	○ 吉 田 壮
		知能ソフトウェア工学	教授	博(工)名大	○ 小 尻 智 子
			教授	博(工)大市大	○ 徳 丸 正 孝
			教授	博(工)同大	○ 花 田 良 子
			准教授	博(情報学)府大	○ アイエドゥン エマヌエル

注 研究指導教員については変更することがあります。
 変更が生じた場合は、本大学院入試情報サイトでお知らせしますので、出願前にご確認ください。
https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/ (2025年4月現在)

2026年度 博士課程前期課程 研究領域および担任教員一覧（予定）

専攻	分野	研究領域	教員氏名（○は研究指導教員を表す）			
環境都市工学専攻	建築学分野	構造系	教授	博(工)京大	○ 池 永 昌 容	
			教授	博(工)京大	○ 榊 井 健	
			教授	博(工)京大	○ 松 田 敏	
		計画系	教授	博(工)京大	○ 大 影 佳 史	
			教授	博(工)阪大	○ 岡 絵理子	
			教授	博(工)阪大	○ 亀 谷 義 浩	
			教授	博(工)東大	○ 木 下 光	
			教授	工博(京大)	○ 藤 田 勝 也	
			准教授	博(美術)東京芸大	○ 野 村 正 晴	
			准教授	博(工)関大	橋 寺 知 子	
		環境系	教授	学術博(奈良女子大)	○ 都 築 和 代	
			教授	博(工)京大	○ 豊 田 政 弘	
	教授		博(工)阪大	○ 原 直 也		
	准教授		博(工)阪大	○ 竹 村 明 久		
	都市システム工学分野	地球環境系	教授	博(工)京大	○ 尾 崎 平	
			教授	Ph. D. (南カリフォルニア大)	○ 飛 田 哲 男	
			教授	博(工)京大	○ 安 田 誠 宏	
			准教授	博(工)山梨大	○ 橋 本 雅 和	
			准教授	博(工)京大	○ 宮 崎 祐 輔	
		設計建設系	教授	博(工)阪大	○ 石 川 敏 之	
			教授	博(工)名大	○ 上 田 尚 史	
			教授	博(工)九大	○ 鶴 田 浩 章	
			准教授	博(工)関大	○ 北 岡 貴 文	
		計画マネジメント系	教授	博(工)名大	○ 井ノ口 弘 昭	
			教授	博(工)東北大	○ 北 詰 恵 一	
			教授	博(工)阪大	○ 尹 禮 分	
准教授			博(工)京大	○ 林 倫 子		
情報システム系		教授	工博(京大)	○ 兼 清 泰 明		
	教授	博(工)関大	○ 窪 田 諭			
	教授	博(工)立命大	○ 滝 沢 泰 久			
	教授	博(工)奈良先端大	○ 安 室 喜 弘			
	准教授	博(工)奈良先端大	○ 安 達 直 世			
工都建 学市 学シ 分学 野ス 共テ 野分 通ム・	地域再生学	教授	博(工)名大	○ 井ノ口 弘 昭		
教授		博(工)阪大	○ 岡 絵理子			
教授		博(工)東北大	○ 北 詰 恵 一			
教授		博(工)東大	○ 木 下 光			
エネルギー環境・化学工学分野	エネルギー工学	教授	博(工)東北大	○ 朝 熊 裕 介		
		教授	博(工)関大	○ 池 永 直 樹		
		教授	博(工)関大	○ 中 川 清 晴		
		教授	博(工)関大	○ 村 山 憲 弘		
		准教授	博(工)阪大	○ 福 康 二郎		
		准教授	博(工)横浜国大	○ 松 岡 光 昭		
	環境化学	教授	博(工)阪大	○ 田 中 俊 輔		
		教授	博(工)京大	○ 林 順 一		
		准教授	博(工)関大	○ 荒 木 貞 夫		
		准教授	博(工)阪大	○ 木 下 卓 也		
准教授		博(工)京大	長谷川 功			

注 研究指導教員については変更することがあります。
 変更が生じた場合は、本大学院入試情報サイトでお知らせしますので、出願前にご確認ください。
 (https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/) (2025年4月現在)

2026年度 博士課程前期課程 研究領域および担任教員一覧（予定）

専攻	分野	研究領域	教員氏名（○は研究指導教員を表す）		
化学生命工学専攻	化学・物質工学分野	金属材料設計	教授 博(工)阪大	○ 上 田 正 人	
			教授 博(工)大府大	○ 森 重 大 樹	
		金属材料プロセス	教授 博(工)阪大	○ 西 本 明 生	
			教授 博(工)関大	○ 星 山 康 洋	
			教授 博(工)北大	○ 丸 山 徹	
		金属・無機材料物性	教授 博(工)三重大	○ 荒 地 良 典	
			教授 博(工)慶應大	○ 内 山 弘 章	
			教授 工博(京大)	○ 幸 塚 広 光	
			教授 博(工)京大	○ 竹 下 博 之	
			教授 博(工)阪大	○ 春 名 匠	
			准教授 博(学術)東京医科歯科大	○ 近 藤 亮 太	
		無機・物理化学	教授 博(理)阪大	○ 青 田 浩 幸	
			教授 工博(阪大)	○ 石 川 正 司	
			教授 博(理)九大	○ 川 崎 英 也	
			准教授 博(工)関大	○ 郭 昊 軒	
			准教授 博(工)慶應大	山 縣 雅 紀	
		有機化学	教授 博(工)阪大	○ 梅 田 壘	
			教授 博(工)岐阜大	○ 大 洞 康 嗣	
			教授 博(工)関大	○ 坂 口 聡	
			教授 工博(阪大)	○ 西 山 豊	
			准教授 博(理)大市大	○ 矢 野 将 文	
	生命・生物工学分野	高分子化学	教授 博(工)東工大	○ 工 藤 宏 人	
			教授 博(工)東工大	○ 三 田 文 雄	
			教授 博(工)関大	○ 原 田 美由紀	
			准教授 博(工)京大	○ 曾 川 洋 光	
		生体材料化学	教授 博(工)日大	○ 岩 崎 泰 彦	
			教授 博(工)京大	○ 大 矢 裕 一	
			教授 博(工)大府大	○ 柿 木 佐知朗	
			教授 博(工)大府大	○ 河 村 暁 文	
			教授 博(工)大工大	○ 平 野 義 明	
			教授 博(地球環境科学)北大	○ 古 池 哲 也	
			教授 博(工)神大	○ 宮 田 隆 志	
		生体機能分子化学	教授 工博(阪大)	○ 石 田 齊	
			教授 博(工)東大	○ 葛 谷 明 紀	
			教授 博(理)名大	○ 矢 島 辰 雄	
			准教授 博(理)奈良女子大	中 井 美早紀	
		計算物質科学	准教授 博(工)名大	○ 藤 本 和 士	
	生命・生物工学分野	バイオテクノロジー	教授 博(工)関大	○ 岩 木 宏 明	
			教授 博(農)京大	○ 老 川 典 夫	
			教授 農博(東大)	○ 片 倉 啓 雄	
			教授 博(工)阪大	松 村 吉 信	
			教授 博(工)阪大	○ 山 崎 思 乃	
			教授 博(生物資源)福井県立大	○ 山 中 一 也	
			准教授 博(工)神大	○ 岡 野 憲 司	
			准教授 博(工)関大	○ 佐々木 美 穂	
		ライフサイエンス	教授 博(理)阪大	下 家 浩 二	
			教授 博(薬)京大	○ 住 吉 孝 明	
			教授 博(薬)京大	○ 長 岡 康 夫	
			教授 博(水産)北大	○ 福 永 健 治	
			教授 博(工)関大	○ 細 見 亮 太	
			准教授 博(理)北大	○ 日下部 り え	
			准教授 博(理)阪大	安 原 裕 紀	
			准教授 博(生命科学)京大	○ 山 口 賀 章	

理工学研究科（博士課程後期課程）

募集研究科・専攻および入学定員

研 究 科	専 攻	入学定員
理工学研究科	総 合 理 工 学 専 攻	47名

注 入学学期および入試種別ごとの募集人員は設定していません。

D 一般入学試験（春学期入学：10月募集・2月募集）

1 出願資格

次の(1)～(7)のいずれかの条件を満たす者

（本研究科入学までに、(1)～(5)のいずれかの条件を満たす見込みの者を含む）

- (1) 修士の学位または専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法第一条第二項に規定する 1972 年 12 月 11 日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第 118 号）
- (7) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力を有すると認めた者で、本研究科入学までに 24 歳に達する者

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(6)または(7)に該当する志願者

なお、個別の入学資格審査に先立ち、志望する研究領域の教員に連絡をする必要があります。

2. 手続方法・申請期日

1 ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

なお、出願資格(6)または(7)による出願は、出願前に個別の入学資格審査として行う学力認定試験に合格した者に限ります。学力認定試験は書類選考および口頭試問を実施します。

【重要】出願に先立ち、「大学院 Information（デジタルパンフレット）」または理工学研究科ウェブサイト参照のうえ、志望する研究領域の教員に必ず連絡し、「志望理由書」の所定欄に連絡した日付および教員名を記入してください。（本学理工学研究科在学生を除く。）

2 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、39～40 ページの「V 出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「出願書類一覧（チェックリスト）」も出願書類と併せて提出すること。

出願書類【書類番号】	備 考
全ての志願者が提出する書類	
志願票（提出用）【①】	Web エントリー完了後に印刷したものを提出してください。
志望理由書【②】	本学所定の用紙 ★本人自筆に限る

出身大学院の成績証明書【③】	成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。 ○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書（原本）を提出してください。 ○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。 ○在籍期間中にDD（デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー）プログラム等に参加したが、在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。 注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。 注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書（書式自由）を作成し、併せて提出してください。（学校印等は不要） 注3 <u>出願資格(6)または(7)</u>により出願する場合は、最終出身学校の成績証明書を提出してください。
出身大学院の修了（見込）証明書【④】	出願書類③に、修了（見込）であることが記載されている場合は、提出不要です。 修了（見込）証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。 注 <u>出願資格(6)または(7)</u>により出願する場合は、最終出身学校の卒業証明書を提出してください。
研究計画書【⑤】	2,000 字程度 原本 1 部とその写し 3 部 パソコン等で A4 用紙（横書 40 字×40 行）を使用して作成してください。
在留カードまたはパスポートの写し【⑮】 ★日本国以外の国籍を有する者のみ （特別永住者を除く。）	在留カードの場合は両面をコピーしてください。 パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限、在留資格および最新の在留期間が記載されている部分をコピーしてください。
写真 2 枚	最近 3 カ月以内に撮影されたものを志願票（提出用）と志望理由書にそれぞれ貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。（志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。）
出願資格(1)～(5)で出願する者のうち、すでに修士論文を提出済みの者	
修士論文の概要【⑥】	2,000 字程度 4 部 パソコン等で A4 用紙（横書 40 字×40 行）を使用して作成してください。
修士論文の写し【⑦】	4 部
出願資格(1)～(5)で出願する者のうち、修士論文を提出予定の者	
研究業績【⑨】	学術論文、学会発表、研究報告書の抜刷またはその写し 各 4 部
出願資格(6)または(7)で出願する者および 専門職学位を有する者（または取得見込みの者）で修士論文を作成していない場合	
業績報告書【⑧】	研究業績または業務内容の概要 2,000 字程度 原本 1 部とその写し 3 部 パソコン等で A4 用紙（横書 40 字×40 行）を使用して作成してください。
研究業績【⑨】	学術論文、学会発表、研究報告書の抜刷またはその写し 各 4 部

3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

4 合否判定基準

筆記試験および口頭試問の総合得点の高位順に合否を決定します。

ただし、筆記試験または口頭試問の得点が基準点に抵触する場合は、総合得点に関係なく、不合格となる場合があります。

【筆記試験免除者】

口頭試問の得点の高位順に合否を決定します。

なお、理工学研究科で学ぶために必要不可欠な素養を評価・審査するため、合格者数が入学定員を満たさない場合があります。

5 試験科目

筆記試験 (100点)	口頭試問 (100点)
外国語 (英語)	筆記試験終了後
10:00～11:30 (90分)	

注1 本大学院工学研究科博士課程前期課程修了者および理工学研究科博士課程前期課程修了（見込）者は「筆記試験」を免除します。

注2 口頭試問の開始時刻および試験場等の詳細は、試験当日に指示します。

なお、筆記試験免除者の口頭試問の開始時刻は、受験票にて通知します。

注3 口頭試問は提出した研究計画書、研究業績および修士論文とその概要に基づいて行います。

D 外国人留学生入学試験（春学期入学：10月募集・2月募集/秋学期入学：7月募集）

1 出願資格

次の(1)～(5)のいずれかの条件を満たす者

（本研究科入学までに、(1)～(3)のいずれかの条件を満たす見込みの者を含む）

- (1) 外国の大学院において修士の学位または専門職学位に相当する学位を得た者
- (2) 日本の大学院において外国人留学生として修士の学位または専門職学位を得た者
- (3) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法第一条第二項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (4) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- (5) その他、本大学院において、修士の学位を有する者と同等以上の学位を有すると認めた者で、本研究科入学までに24歳に達する者。ただし、日本において通常の課程による学校教育を受けたと認定した外国人を除く。

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(4)または(5)に該当する志願者

なお、個別の入学資格審査に先立ち、志望する研究領域の教員に連絡をする必要があります。

2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

【重要】出願に先立ち、「大学院 Information（デジタルパンフレット）」または理工学研究科ウェブサイト参照のうえ、志望する研究領域の教員に必ず連絡し、「志望理由書」の所定欄に連絡した日付および教員名を記入してください。（本学理工学研究科在学学生を除く。）

2 出願書類

入学検定料35,000円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、39～40ページの「V 出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「出願書類一覧（チェックリスト）」も出願書類と併せて提出すること。

出願書類【書類番号】	備考
全ての志願者が提出する書類	
志願票（提出用）【①】	Web エントリー完了後に印刷したものを提出してください。
日本語または英語による志望理由書【②】	本学所定の用紙 ★本人自筆に限る
出身大学院の成績証明書【③】	成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。 ○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書（原本）を提出してください。 ○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。

	○在籍期間中にDD（デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー）プログラム等に参加したが、在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。 注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。 注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書（書式自由）を作成し、併せて提出してください。（学校印等は不要）
出身大学院の修了（見込）証明書【④】	修了（見込）であること、入学年月および修了（見込）年月が記載されていること。 ただし、出願書類③に上記内容が記載されている場合は、提出不要です。 修了（見込）証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。
日本語または英語による研究計画書【⑤】	2,000 字程度 原本1部とその写し3部 パソコン等で A4 用紙（横書 40 字×40 行）を使用して作成してください。
在留カードまたはパスポートの写し【⑮】	在留カードの場合は両面をコピーしてください。 パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限、在留資格、および最新の在留期間が記載されている部分をコピーしてください。
写真 2 枚	最近3カ月以内に撮影されたものを志願票（提出用）と志望理由書にそれぞれ貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。 （志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。）
出願資格(1)～(3)で出願する者のうち、すでに修士論文を提出済みの者	
日本語または英語による修士論文の概要【⑥】	2,000 字程度 原本1部とその写し3部 パソコン等で A4 用紙（横書 40 字×40 行）を使用して作成してください。
日本語または英語による修士論文の写し【⑦】	4 部
出願資格(1)～(3)で出願する者のうち、修士論文を提出予定の者	
研究業績【⑨】	学術論文、学会発表、研究報告書の抜刷またはその写し各4部

3 選 考 方 法

書類選考および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

4 合否判定基準

口頭試問の得点の高位順に合否を決定します。

なお、理工学研究科で学ぶために必要不可欠な素養を評価・審査するため、合格者数が入学定員を満たさない場合があります。

5 試 験 科 目

筆 記 試 験	口 頭 試 問
行いません	口頭試問の開始時刻は受験票にて通知します。

注 口頭試問は提出した研究計画書、研究業績および修士論文とその概要に基づいて行います。

D 社会人入学試験（春学期入学：10月募集・2月募集/秋学期入学：8月募集）

1 出願資格

次の(1)および(2)に該当する者

(1) 次のア～キのいずれかに該当する者

ア 修士の学位または専門職学位を有する者

イ 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者

ウ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者

エ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者

オ 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法第一条第二項に規定する 1972 年 12 月 11 日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者

カ 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第 118 号）

キ 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力を有すると認めた者で、本研究科入学までに 24 歳に達する者

(2) 次のアまたはイのいずれかに該当する者

- ア {
 ○出願資格(1)-ア～オによる志願者
 入学時において、博士課程前期課程（修士課程）修了後、同一の企業、官公庁、教育・研究機関等において継続して2年以上専門職に勤務している者
 ○出願資格(1)-カによる志願者
 入学時において、大学卒業後、大学・研究所等で継続して2年以上専門職に勤務している者
 ○出願資格(1)-キによる志願者
 入学時において、大学・研究所等で継続して2年以上専門職に勤務している者
 イ 本大学院において、個別の入学資格審査により、アに準ずる職歴を有すると認めた者

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(1)-カ、(1)-キまたは(2)-イに該当する志願者

なお、個別の入学資格審査に先立ち、志望する研究領域の教員に連絡をする必要があります。

2. 手続方法・申請期日

1 ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

なお、出願資格(1)-カ、(1)-キによる出願は、出願前に行う学力認定試験に合格した者に限ります。学力認定試験は、書類選考の他に必要に応じて筆記試験および口頭試問を実施します。

【重要】出願に先立ち、「大学院 Information（デジタルパンフレット）」または理工学研究科ウェブサイト参照のうえ、志望する研究領域の教員に必ず連絡し、「志望理由書」の所定欄に連絡した日付および教員名を記入してください。

2 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、39～40 ページの「V 出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いないように提出してください。

また、「出願書類一覧（チェックリスト）」も出願書類と併せて提出すること。

出願書類【書類番号】	備 考
全ての志願者が提出する書類	
志願票（提出用）【①】	Web エントリー完了後に印刷したものを提出してください。
志望理由書【②】	本学所定の用紙 ★本人自筆に限る
出身大学院の成績証明書【③】	成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。 ○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学院の成績証明書に記載がない場合は、留学先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。 ○在籍期間中にDD（デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー）プログラム等に参加したが、在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。 注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。 注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書（書式自由）を作成し、併せて提出してください。（学校印等は不要） 注3 <u>出願資格(1)ーカまたは(1)ーキ</u>により出願する場合は、最終出身学校の成績証明書を提出してください。
出身大学院の修了証明書【④】	出願書類③に、修了（見込）であることが記載されている場合は、提出不要です。 修了（見込）証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。 注 <u>出願資格(1)ーカまたは(1)ーキ</u>により出願する場合は、最終出身学校の卒業証明書を提出してください。
研究計画書【⑤】	2,000 字程度 原本 1 部とその写し 3 部 パソコン等で A4 用紙（横書 40 字×40 行）を使用して作成してください。
研究業績【⑨】	学術論文、学会発表、研究報告書の抜刷またはその写し 各 4 部
勤務先の所属長の承諾書【⑬】	様式自由
在留カードまたはパスポートの写し【⑮】 ★日本国以外の国籍を有する者のみ （特別永住者を除く。）	在留カードの場合は両面をコピーしてください。 パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限、在留資格および最新の在留期間が記載されている部分をコピーしてください。
写真 2 枚	最近 3 カ月以内に撮影されたものを志願票（提出用）と志望理由書にそれぞれ貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。 （志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。）
出願資格(1)ーア～オで出願する者のうち、すでに修士論文を提出済みの者	
修士論文の概要【⑥】	2,000 字程度 4 部 パソコン等で A4 用紙（横書 40 字×40 行）を使用して作成してください。
修士論文の写し【⑦】	4 部
出願資格(1)ーカまたは(1)ーキで出願する者および 専門職学位を有する者（または取得見込みの者）で修士論文を作成していない場合	
業績報告書【⑧】	研究業績または業務内容の概要 2,000 字程度 原本 1 部とその写し 3 部 パソコン等で A4 用紙（横書 40 字×40 行）を使用して作成してください。

3 選 考 方 法

書類選考および口頭試問の結果を総合して可否を判定します。

4 合否判定基準

口頭試問の得点の高位順に合否を決定します。

なお、理工学研究科で学ぶために必要不可欠な素養を評価・審査するため、合格者数が入学定員を満たさない場合があります。

5 試験科目

筆 記 試 験	口 頭 試 問
行いません	口頭試問の開始時刻は受験票にて通知します。

注 口頭試問は提出した研究計画書、研究業績および修士論文とその概要に基づいて行います。

注 研究指導教員については変更することがあります。
 変更が生じた場合は、本大学院入試情報サイトでお知らせしますので、出願前にご確認ください。
 (https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/) (2025年4月現在)

2026年度 博士課程後期課程 研究領域および担任教員一覧（予定）

専攻	分野	研究領域	教員氏名（○は研究指導教員を表す）		
総合理工学専攻	数学分野	コホモロジー的数理	教授	博(理)東工大	○ 庄 田 敏 宏
			教授	博(数理学)東大	○ 藤 岡 敦
			教授	博(理)早大	○ 村 林 直 樹
			教授	博(理)名大	○ 柳 川 浩 二
			教授	博(理)阪大	○ 和久井 道 久
			准教授	博(数理学)東大	神 吉 雅 崇
		確率・統計	教授	博(理)阪大	○ 上 村 稔 大
			教授	理博(阪大)	○ 竹 田 雅 好
			教授	博(学術)東大	○ 寺 本 央
			准教授	博(数理)九大	上 原 悠 慎
			准教授	博(理)立命館大	田 口 大
	物理・応用物理学分野	基礎・計算物理	教授	博(理)京大	○ 板 野 智 昭
			教授	博(工)名大	○ 伊 藤 博 介
			教授	博(理)大市大	○ 伊 藤 誠
			教授	理博(京大)	○ 関 眞佐子
			教授	博(工)名大	○ 本 多 周 太
			教授	理博(京大)	○ 和 田 隆 宏
			准教授	博(理)信州大	阿 部 裕 悟
		光学・応用物理	教授	博(工)阪大	○ 浅 川 誠
			教授	博(材)北陸先端大	○ 稲 田 貢
			教授	博(理)京大	○ 山 口 聡一朗
			教授	博(工)東大	○ 山 本 健
			准教授	Ph. D. (メリーランド大)	山 本 真 人
		ナノ機能物理工学	教授	博(工)慶應大	○ 伊 藤 健
			教授	博(工)広大	○ 清 水 智 弘
		流体工学・バイオメカニクス	教授	博(工)関大	○ 田地川 勉
			教授	博(工)阪大	○ 山 本 恭 史
			准教授	博(工)北大	大 友 涼 子
		材料工学	教授	博(工)阪大	○ 齋 藤 賢 一
			教授	博(工)関大	○ 佐 藤 知 広
			教授	博(工)京大	○ 高 橋 可 昌
			教授	工博(関大)	○ 宅 間 正 則
		トライボロジー・情報マイクロメカトロニクス	教授	博(工)東工大	○ 小金沢 新 治
			教授	博(工)東大	○ 谷 弘 詞
			教授	博(工)岩大	○ 呂 仁 国
	機械工学分野	熱工学	教授	博(工)関大	○ 梅 川 尚 嗣
			教授	博(工)同大	○ 松 本 亮 介
			准教授	博(工)関大	網 健 行
			准教授	博(工)京大	小 田 豊
		生産加工システム	教授	博(工)東大	○ 古 城 直 道
			教授	工博(東大)	○ 山 口 智 実
			准教授	博(工)岡山大	廣 岡 大 祐
		機械力学・制御工学	教授	博(工)東大	○ 宇津野 秀 夫
			教授	博(工)京大	○ 山 田 啓 介
			准教授	博(情報科学)阪大	白 藤 翔 平
		計測・知能システム	教授	博(理)広大	○ 高 田 啓 二
			教授	博(工)阪大	○ 前 泰 志
			准教授	博(工)阪大	ラサミー ポチャラ
		ロボット・マイクロシステム	教授	博(工)東大	○ 青 柳 誠 司
			教授	博(工)広大	○ 鈴 木 昌 人
			准教授	博(工)東北大	高 橋 智 一
		人間・生体情報工学	教授	Ph. D. (ペンシルバニア州立大)	○ 小 谷 賢太郎
			准教授	博(工)青学大	鈴 木 哲

注 研究指導教員については変更することがあります。
 変更が生じた場合は、本大学院入試情報サイトでお知らせしますので、出願前にご確認ください。
 (https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/) (2025年4月現在)

2026年度 博士課程後期課程 研究領域および担任教員一覧（予定）

専攻	分野	研究領域	教員氏名（○は研究指導教員を表す）		
総合理工学専攻	電気電子情報工学分野	電気工学	教授	博(工)東大	○ 大 橋 俊 介
			教授	博(工)東大	○ 濱 田 昌 司
			准教授	博(工)関大	米 津 大 吾
		機能性材料・デバイス	教授	博(工)阪大	○ 北 村 敏 明
			教授	博(工)阪大	○ 佐 伯 拓
			准教授	博(工)関大	佐 藤 伸 吾
			准教授	博(工)筑波大	宝 田 隼
		情報通信工学	教授	博(工)阪大	○ 平 田 孝 志
			教授	工博(阪大)	○ 山 本 幹
			教授	博(工)阪大	○ 四 方 博 之
			教授	博(工)阪大	○ 和 田 友 孝
		システム情報学	教授	博(工)京大	○ 伊 藤 秀 隆
			教授	博(工)慶大	○ 肥 川 宏 臣
			教授	博(工)金沢大	○ 三 好 誠 司
			准教授	博(工)岡山大	本 仲 君 子
		メディア処理工学	教授	博(工)阪大	○ 梶 川 嘉 延
			教授	博(工)大市大	○ 松 島 恭 治
			准教授	博(情報科学)北大	吉 田 壮
		知能ソフトウェア工学	教授	博(工)名大	○ 小 尻 智 子
			教授	博(工)大市大	○ 徳 丸 正 孝
			教授	博(工)同大	○ 花 田 良 子
			准教授	博(情報学)府大	アイエドゥン エマヌエル

注 研究指導教員については変更することがあります。
 変更が生じた場合は、本大学院入試情報サイトでお知らせしますので、出願前にご確認ください。
 (https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/) (2025年4月現在)

2026年度 博士課程後期課程 研究領域および担任教員一覧（予定）

専攻	分野	研究領域	教員氏名（○は研究指導教員を表す）			
総合理工学専攻	建築学分野	構造系	教授	博(工)京大	○池永昌容	
			教授	博(工)京大	○榊井健	
			教授	博(工)京大	○松田敏	
		計画系	教授	博(工)京大	○大影佳史	
			教授	博(工)阪大	○岡絵理子	
			教授	博(工)阪大	○亀谷義浩	
			教授	博(工)東大	○木下光	
			教授	工博(京大)	○藤田勝也	
			准教授	博(美術)東京芸大	野村正晴	
		環境系	教授	学術博(奈良女子大)	○都築和代	
			教授	博(工)京大	○豊田政弘	
			教授	博(工)阪大	○原直也	
	准教授		博(工)阪大	竹村明久		
	都市システム工学分野	地球環境系	教授	博(工)京大	○尾崎平	
			教授	Ph. D. (南カリフォルニア大)	○飛田哲男	
			教授	博(工)京大	○安田誠宏	
			准教授	博(工)山梨大	橋本雅和	
			准教授	博(工)京大	宮崎祐輔	
		設計建設系	教授	博(工)阪大	○石川敏之	
			教授	博(工)名大	○上田尚史	
			教授	博(工)九大	○鶴田浩章	
			准教授	博(工)関大	北岡貴文	
		計画マネジメント系	教授	博(工)名大	○井ノ口弘昭	
			教授	博(工)東北大	○北詰恵一	
			教授	博(工)阪大	○尹禮分	
			准教授	博(工)京大	林倫子	
		情報システム系	教授	工博(京大)	○兼清泰明	
			教授	博(工)関大	○窪田諭	
			教授	博(工)立命大	○滝沢泰久	
	教授		博(工)奈良先端大	○安室喜弘		
准教授	博(工)奈良先端大		安達直世			
工学分野共通	地域再生学	教授	博(工)名大	○井ノ口弘昭		
		教授	博(工)阪大	○岡絵理子		
		教授	博(工)東北大	○北詰恵一		
		教授	博(工)東大	○木下光		
エネルギー・環境・化学工学分野	エネルギー工学	教授	博(工)東北大	○朝熊裕介		
		教授	博(工)関大	○池永直樹		
		教授	博(工)関大	○中川清晴		
		教授	博(工)関大	○村山憲弘		
		准教授	博(工)阪大	福康二郎		
		准教授	博(工)横浜国大	松岡光昭		
	環境化学	教授	博(工)阪大	○田中俊輔		
		教授	博(工)京大	○林順一		
	准教授	博(工)関大	荒木貞夫			
	准教授	博(工)阪大	木下卓也			

注 研究指導教員については変更することがあります。
 変更が生じた場合は、本大学院入試情報サイトでお知らせしますので、出願前にご確認ください。
 (https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/) (2025年4月現在)

2026年度 博士課程後期課程 研究領域および担任教員一覧（予定）

専攻	分野	研究領域	教員氏名（○は研究指導教員を表す）		
総合理工学専攻	化学・物質工学分野	金属材料設計	教授	博(工)阪大	○ 上 田 正 人
			教授	博(工)大府大	○ 森 重 大 樹
		金属材料プロセス	教授	博(工)阪大	○ 西 本 明 生
			教授	博(工)関大	○ 星 山 康 洋
			教授	博(工)北大	○ 丸 山 徹
		金属・無機材料物性	教授	博(工)三重大	○ 荒 地 良 典
			教授	博(工)慶應大	○ 内 山 弘 章
			教授	工博(京大)	○ 幸 塚 広 光
			教授	博(工)京大	○ 竹 下 博 之
			教授	博(工)阪大	○ 春 名 匠
			准教授	博(学術)東京医科歯科大	近 藤 亮 太
		無機・物理化学	教授	博(理)阪大	○ 青 田 浩 幸
			教授	工博(阪大)	○ 石 川 正 司
			教授	博(理)九大	○ 川 崎 英 也
			准教授	博(工)関大	郭 昊 軒
			准教授	博(工)慶應大	山 縣 雅 紀
		有機化学	教授	博(工)阪大	○ 梅 田 壘
			教授	博(工)岐阜大	○ 大 洞 康 嗣
			教授	博(工)関大	○ 坂 口 聡
			教授	工博(阪大)	○ 西 山 豊
			准教授	博(理)大市大	矢 野 将 文
		高分子化学	教授	博(工)東工大	○ 工 藤 宏 人
			教授	博(工)東工大	○ 三 田 文 雄
			教授	博(工)関大	○ 原 田 美由紀
			准教授	博(工)京大	曾 川 洋 光
		生体材料化学	教授	博(工)日大	○ 岩 崎 泰 彦
			教授	博(工)京大	○ 大 矢 裕 一
			教授	博(工)大府大	○ 柿 木 佐知朗
			教授	博(工)大府大	○ 河 村 暁 文
			教授	博(工)大工大	○ 平 野 義 明
			教授	博(地球環境科学)北大	○ 古 池 哲 也
			教授	博(工)神大	○ 宮 田 隆 志
		生体機能分子化学	教授	工博(阪大)	○ 石 田 齊
			教授	博(工)東大	○ 葛 谷 明 紀
			教授	博(理)名大	○ 矢 島 辰 雄
			准教授	博(理)奈良女子大	中 井 美早紀
		計算物質科学	准教授	博(工)名大	藤 本 和 士
	生命・生物工学分野	バイオテクノロジー	教授	博(工)関大	○ 岩 木 宏 明
			教授	博(農)京大	○ 老 川 典 夫
			教授	農博(東大)	○ 片 倉 啓 雄
			教授	博(工)阪大	松 村 吉 信
			教授	博(工)阪大	○ 山 崎 思 乃
			教授	博(生物資源)福井県立大	○ 山 中 一 也
			准教授	博(工)神大	岡 野 憲 司
			准教授	博(工)関大	佐々木 美 穂
		ライフサイエンス	教授	博(理)阪大	下 家 浩 二
			教授	博(薬)京大	○ 住 吉 孝 明
			教授	博(薬)京大	○ 長 岡 康 夫
			教授	博(水産)北大	○ 福 永 健 治
			教授	博(工)関大	○ 細 見 亮 太
			准教授	博(理)北大	日下部 り え
			准教授	博(理)阪大	安 原 裕 紀
			准教授	博(生命科学)京大	山 口 賀 章

V 出願書類に関する注意事項

受理した書類は返却いたしません。

1 志望理由書について

- (1) 黒のインクまたはボールペン（消せるボールペンは除く）で記入してください。
- (2) 次の①～③を参照のうえ、各自が志望する分野の研究領域（博士課程前期課程は第1志望・第2志望、博士課程後期課程は第1志望）を選択してください。なお、博士課程前期課程で第2志望の研究領域がない場合は「なし」と記入してください。

① **博士課程前期課程** 本募集要項 22～25ページ

「2026年度 博士課程前期課程 研究領域および担任教員一覧（予定）」

注 環境都市工学専攻で「地域再生学」を研究領域として志望する者は、「2026年度 研究領域および担任教員一覧（予定）」（24ページ）を参照の上、志望する分野（建築学分野または都市システム工学分野）を選択してください。

博士課程後期課程 本募集要項 35～38ページ

「2026年度 博士課程後期課程 研究領域および担任教員一覧（予定）」

注 環境都市工学専攻で「地域再生学」を研究領域として志望する者は、「2026年度 研究領域および担任教員一覧（予定）」（37ページ）を参照の上、志望する分野（建築学分野または都市システム工学分野）を選択してください。

② 理工学研究科ウェブサイト (https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/eng/)

③ 関西大学大学院Information（デジタルパンフレット）

- (3) 出願後、研究領域および受験科目の変更は一切認めません。
- (4) 学歴事項欄には通学したすべての教育機関（小学校～大学・大学院）について古い順番に記入してください。大学・大学院の経歴、転学部・編入学・留学等（科目等履修生を含む）の経歴がある場合はすべて記入してください。また、日本語学校や研究生としての所属大学・大学院についても記入してください。なお、大学・大学院における学部・学科名および研究科・専攻名は証明書記載の内容と一致するよう、省略せず、正しく記入してください。
- (5) 卒業（修士）論文論題欄は、仮題でもかまいませんので必ず記入してください。なお、卒業（修士）論文が未定の場合は「未定」、ない場合は「なし」と記入してください。また、指導教員がない場合は、「なし」と記入してください。
- (6) 記入する氏名は、住民票、パスポートまたは在留カードに基づいて記入してください。

なお、外国人留学生の氏名はカタカナまたは漢字・アルファベットを使用してください（ひらがな不可）。

また、Web エントリーにおいて代用漢字等を使用した場合については、出願書類と Web エントリー上の文字が異なっても問題ありません。

2 研究計画書について

必ず氏名を明記してください。

3 その他

- (1) 成績証明書、卒業・修了（見込）証明書は原本を提出してください。

（注）原本とは、出身大学（院）等が紙媒体で発行する証明書*です。

*PDF 等のファイル形式をプリントアウトしたものは該当しません。

提出された各証明書は返却できませんので、再発行不可等の理由により原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた「公証書（公証処が発行したもの・日本の公証役場は不可）」を提出してください。

各証明書の有効期限はありません。内容が最新のものであれば、過去に取得した証明書でも構いません。

各証明書は、日本語、英語または中国語で書かれているものを有効書類とします。それ以外の言語で書かれている場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた日本語または英語の訳文を提出してください。

志望理由書の「学歴事項」欄において、大学・学部・学科名を記入するときには、証明書が英語で書かれている場合は日本語に訳し、中国語で書かれている場合は日本漢字に置き換え、日本の漢字にないものは意識してください。

例) School of Foreign Languages → 外国語学部

旅游与历史文化学院 → 旅游与歴史文化学部

- (2) 必要に応じて、別途書類の提出を求める場合があります。
- (3) 証明書記載の氏名と出願時の氏名が異なる場合は、同一人であることがわかる公的な証明書（戸籍抄本・戸籍個人事項証明書等）を別途提出してください。
- (4) 出願期間内に、出願書類が整わない場合、出願を認めないことがあります。
- (5) 出願に関するお問い合わせは、日曜日、祝日および以下の期間以外にお願いします。
 - ・2025年8月1日(金)～9月20日(土)の間の土曜日
 - ・2025年8月11日(月・祝)～8月20日(水)
 - ・2025年12月26日(金)～2026年1月6日(火)
 - ・2026年8月1日(土)～9月20日(日)の間の土曜日
 - ・2026年8月11日(火・祝)～8月20日(木)
- (6) 出願書類の記載事項が事実と異なる場合、不正がある場合は、受験および入学の資格を取り消します。

TOEIC「公開テスト スコア確認サービス」手続きの流れ

【STEP 1】 TOEIC 申込サイトにログイン

ログイン ID とパスワードを入力し、TOEIC 申込サイトにログインしてください。

TOEIC 申込サイト : <https://ms.toeic.or.jp/Usr/Pages/Entry/Login.aspx>

【STEP 2】 公開テスト申込ページへ

TOEIC 申込サイトトップページの「テスト結果」の右下にある「大学・企業等へのスコア提出」ボタンをクリックしてください。

【STEP 3】 スコア提出先と対象テストを選択

「提出先団体選択」で申請コード（**関西大学大学院入試グループの申請コード「00015802」**）を入力して、「検索」ボタンをクリックしてください。

次に「テスト種別選択」で提出するテストを選択して、「次へ」ボタンをクリックしてください。

【STEP 4】 提出するスコアを選択

受験した TOEIC Listening & Reading 公開テストから提出するスコアを選択し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

【STEP 5】 提出内容と注意事項を確認し、提出完了

申請コード、提出先名称、提出スコアおよび注意事項を確認し、注意事項同意のチェックボックスにチェックを入れ、[提出する]ボタンをクリックしてください。

[テスト結果一覧]の[スコア提出一覧]から、提出履歴を確認することができます。



関西大学大学院

https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/

千里山キャンパス

法学研究科 文学研究科 経済学研究科 商学研究科 社会学研究科 理工学研究科
外国語教育学研究科 心理学研究科 東アジア文化研究科 ガバナンス研究科

問合せ先：入試センター大学院入試グループ

〒564-8680 吹田市山手町 3-3-35 TEL 06-6368-1121 (大代表)

mailフォーム https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/qa/

高槻キャンパス

総合情報学研究科

問合せ先：高槻オフィス

〒569-1095 高槻市霊仙寺町 2-1-1 TEL 072-690-3213 (直通)

E-mail: k-soujyo@ml.kandai.jp

高槻ミューズキャンパス

社会安全研究科

問合せ先：ミューズオフィス

〒569-1098 高槻市白梅町 7-1 TEL 072-684-4000 (代表)

E-mail: safety_science@ml.kandai.jp

堺キャンパス

人間健康研究科

問合せ先：堺キャンパス事務室

〒590-8515 堺市堺区香ヶ丘町 1-11-1 TEL 072-229-5022 (代表)

E-mail: sakai1@ml.kandai.jp